



なばりんく

4・5月号



しあわせ写真

みんなでピザ生地をもみもみ！おいしくなあれ！

「森の学校」にて

※関連記事2頁

サロシウリぼう(奈垣・羽根地区)

まちびと探し

今月の まちびとさん



個人ボランティア
中原麻結さん(19)・右
中原由貴さん・左

地域のイベントや子ども会、子育て支援サークルなどで、バルーンアートの披露や、子ども向けのバルーン教室を開催している中原麻結さん。高校生の頃に独学で身に付け、子育て支援サークルで披露したところ大好評！そこで知り合ったお母さんたちから「ぜひ別の機会にもやってほしい」と声がかかり、街道市や地域のイベント子ども会のイベントなどでもバルーンアートの活動を続けてきました。活動当初から付き添い続けているお母さんの由貴さんもバルーンアートを覚え、今ではこの活動が親子共通の楽しみになっているそうです。バルーンアートを見た子ども達やお客さんが感動してくれたり、笑顔で「ありがとう」と言ってくれることが喜びであり、活動の原動力にもなっているという麻結さん。「バルーンアートでみんなを元気にしたい。こどもたちにも作る喜びを感じてほしい」と笑顔で語ってくれました。

《お知らせ》

4月10日(日)14:00~15:00「福祉まちづくりセンター2周年記念祭」に来てくれます♪先着30名のバルーンにプレゼントやパフォーマンスもあるよ！

地域ピックアップ

《森の学校・国津地域》



《森の学校》

場所：名張市つつしが丘南2番町から奈垣に通じる県道沿い

利用：無料

時間：午前9時～午後5時位



《サロンうりぼう》

場所：奈垣集会所

開催日時：月1～2回(不定期)
13:00～16:00

対象者：奈垣・羽根地区の高齢者

「森の学校」はつつしが丘に住む、牧原三千夫さんらが3年かけて遊具を作りあげた手作りの遊び場です。遊具は、ブランコ、ターザンロープなど17種類あり、毎日午後になると小学生を中心に約20名が時間を忘れて遊んでいます。牧原さんは子ども達に「マッキー」と呼ばれ、親しまれています。

3月28日には、奈垣・羽根地区の「サロンうりぼう」の会員ら約20名が地域美化活動で、奈垣集会所から森の学校までを空き缶・ゴミ拾いをし、訪れていました。

森の学校には手作りのピザ釜もあり、この日訪れたうりぼうのメンバーが材料をそろえ手作り！牧原さんにピザ釜で焼いてもらい、あつあつのピザを持参したおにぎりとともにほおばりながら、青空のもと楽しくサロンを開催しました。この日、遊んでいた子ども達も一緒にピザやおにぎりをいただき、世代を超えた交流ができていました。

牧原さんは「森の学校は無料で開放しており、地域の方の集いがある時はピザ窯も使えるので、どこの地区の方でも使っていていただき交流の場所にして欲しい。」また、「一緒にこの森を整備してくれるボランティアも募集中！」と話してくれました。

サロン活動紹介

錦生地域《輝サロン》



錦生地域の輝サロンは、知的障害を持つ人とその保護者、ボランティアスタッフによって平成26年に立ち上げられました。メンバー間の交流と支援を行い、地域からの理解と交流を深めることを目的に、月一回、散歩や習字、手芸などを楽しみ、時には地域の人からの声掛けで菜花摘みや、しいたけ採りに出かけたりもしているそうです。

昨年からは、喫茶をスタート。利用者もコーヒー豆を挽いたり食器を洗ったり、ピアノの演奏をしたりと、それぞれ役割をもって地域の方をおもてなしして、生き生き楽しく能力を発揮しています。

代表の生田さんは「サロン活動では人に恵まれ、地域の方のあたたかさを感じました。これからも活動を通してゆっくと、1人でも理解者を増やしていければ」と話してくれました。



「輝サロン」

場所：黒田集会所

開催日：第2日曜日

時間：9:00～10:30

※第5日曜日がある月に喫茶開催

ボランティア トーク 「ルーTalk」!



湯浅 雄次さん

皆様、初めまして。私は、国際交流に関心があります。きっかけは、大学時代に経験したカナダでの留学です。その経験を名張でも活かしたく、名張在住の外国人と友達になり、名張でも英語を話す環境をつくったり、国際交流に関する活動を探しました。

今では名張で、外国人に日本語を教えるボランティア(ゆうあい日本語の会)と英会話サークル(E7)、伊賀上野では通訳ガイドボランティア(伊賀SGGクラブ)に所属しています。名張でも、こんなに国際交流が出来ることに正直驚いています。

ボランティアで得られるのは、「同じ志をもった仲間」「そこできが得ることが出来ない経験」だと思います。そこでは何でも勉強になります。国際交流に関心のある方は、お会いするかもしれませんね。

ご一読いただき、ありがとうございました。

音楽工房



「東京だヨおっ母さん」

「東京だヨおっ母さん」は、昭和32年、島倉千代子さんのヒット曲です。故郷を出て久しい娘が老いた母の手を引きながら二重橋、靖国、九段坂、浅草観音様など東京を案内する情景を歌っています。二番の歌詞の「桜の下でさぞかし待たろう」とは戦死した兄が祀られている靖国神社の桜のことだそうです。敗戦12年、靖国にお参りする母娘の心情を歌った歌詞に涙する人もたくさんいたのではないのでしょうか。島倉千代子の代表作といわれる「東京だヨおっ母さん」はNHKの紅白では一度も歌われたことはないそうです。なぜなのでしょうね。

昭和32年といえば東京の有楽町に大阪の「そごう」百貨店が進出し「有楽町で逢いましょう」が流行語にもなりました。東京は2020年のオリンピックに向けてどんどん整備されています。昭和30年代と今も変わらない浅草のような下町も残っており今と昔が共存する町なのかもしれません。母と一緒に東京見物をするならば……どこを案内するでしょうか。

「いっしょに唄いませんか」で楽しいひと時を過ごしましょう。ふれあいでお待ちしています。

4.5月の “みんなでいっしょに唄いませんか”

開催日：4月11日(月)
5月11日(水)

上記いずれも

- ◆時間：10:30～11:30
 - ◆会場：名張市総合福祉センター
ふれあいホール
 - ◆対象：市内在住の
子育て中の親子から
高齢者まで
- ※参加費無料・申込不要

介護者サロン “さくら喫茶”

開催日：毎月第3水曜日

- ◆時間：13:30～15:30
 - ◆内容：小物づくりと茶話会
 - ◆会場：福祉まちづくりセンター
(イオン名張店 3階)
 - ◆対象：市内在住で、介護をされている方、介護に関わりのある方
- ※参加費無料・申込不要

知っていますか？ 名張市家族介護者の会「楓の会」

名張市家族介護者の会「楓の会」は、名張市で家族等の介護をしている方や家族介護の経験者の会です。食事をしながらの交流会や介護者サロン等をおこない、介護仲間とのんびり交流したり、介護についての悩みや気づきを話し合ったりしています。興味のある方はお気軽に事務局までお問い合わせください。
事務局：名張市社会福祉協議会(63-1111)



手づくりレシピ紹介

春キャベツを 美味しく♪



※キャベツがトロトロ甘くて美味しい 簡単にできて和・洋・中どんなおかずにも良く合う

作り方

1. キャベツはざく切りにする。
2. 鍋にごま油を入れてキャベツを炒める。少ししんなりしたら水、又はお湯を加えて沸騰させる。
3. 沸騰したら※調味料を加えてキャベツがしんなりするまで煮る。(※ウェイパー又は中華味の素か鶏ガラスープなど)
4. 味をみてお好みで塩・こしょうをして味を調える。溶き卵を回し入れて出来上がり♪

材料(4人分)

- キャベツ・・・大きめ4～5枚
- ごま油・・・大さじ1/2
- 水・又はお湯・・・4カップ
- ※ウェイパー・・・大さじ1
- 塩・コショウ・・・お好みで
- 卵(なくてもOK)・・・1個

～サロンや地域の集まり、ご家庭で作ってみませんか～

レシピ提供・協力：里お達者クラブ



おすすめ図書!

満開の桜をくぐりかわいい一年生が入学します。

私達もこのコーナーを担当することになりドキドキしております。

桔梗が丘南小学校で昨年の4・5月に朝の読書の時間に私達が読んだ本を紹介いたします。

『小さなヒッポ』『うさこちゃんときゃらめる』『はらぺこがはらのメエメエさん』『ごちゃまぜカメレオン』『おじさんのかさ』『にゃーご』『これはのみのびこ』『くわずにようぼう』『さるとわに』
この中で今回ご紹介したい本は、

『これはのみのびこ』

作 谷川 俊太郎 絵 和田 誠
文字をまだ習い始めたばかりの一年生は、
絵とリズムカルなことば遊びを楽しみ
二年生は大合唱となりました。
一年生の教科書で紹介されています。



- 『うさこちゃんときゃらめる』
- 作 ブルックナー
- うさこちゃんの本は、赤ちゃん絵本と思われているかもしれませんが、この本では万引きを後悔するうさこちゃんが登場します。みんなでいっしょにあんなことしなければ良かったと思える一冊です。



協力：桔梗が丘南小学校図書館ボランティア

(同会は、本の整理、図書室(学校図書館)のディスプレイ、本の読み聞かせ、学校図書館ボランティアに関する研修、地域の絵本展に協力してりるボランティアです。)

発行：社会福祉法人 名張市社会福祉協議会

名張市丸之内79番地 名張市総合福祉センターふれあい内
電話番号 63-1111

福祉まちづくりセンター

ショッピングセンターリバーナ(イオン名張店)3階
電話番号 62-7388
ホームページ <http://www.nabarishakyo.jp>
発行部数：1,300部

《設置場所、協力店舗》

総合福祉センターふれあい、福祉まちづくりセンター、市民情報交流センター、各公民館・市民センター、子ども支援センターかがやき、武道交流館いきいき、名張郵便局、錦生簡易郵便局、近畿大学工業高等専門学校、名張市役所、名張市立病院、名張市立図書館、総合体育館、協力店舗等(吉野豆腐、はなびし庵、なの花薬局夏見店、山平たばこ店、café*mjuk、booksアルデ、サロンきずな、やなせ宿、ひまわり書店、大和屋、東整形外科、フワリヤ本店、ふれあいサロン「ゆこゆこ」、コミュニティープラザナウラ

《名張市内の中学校では、クラス掲示をしていただいています。》

★地域福祉活動情報受付中! 『地域で子どもや高齢者と一緒にこんな活動しています』『サロンでこんな活動しています』『地域でこんな福祉活動している人がいます』などなど・・・情報をお知らせください。社協職員が取材に伺い情報発信していきます!
次回のなばりんくは6月1日発行予定です。